令和５年度　カーボンニュートラル推進事業　【予算総額　258,502 千円】

1 ［新規］地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定　【予算額　11,879 千円】

2050 脱炭素社会の実現のため、地球温暖化対策推進法第 21 条第 4 項に規定する「松阪市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定する。

***温暖化対策調査等事業費（環境課）**
※事務事業編の見直し、市民・企業アンケートの実施、脱炭素シナリオの作成、実行計画策定員会の開催など

2 ［新規］家庭（住宅）の脱炭素化の支援　【予算額　19,000 千円】

住宅の脱炭素化と災害時のレジリエンス強化を図るため、脱炭素化住宅の建築費用又はこれらの設備の導入費用の一部を支援する。

***脱炭素化住宅等促進補助金（環境課）**
① LCCM 住宅　200,000 円
② ZEH（ZEH+、次世代 ZEH+を含む）　100,000 円
③ 家庭用蓄電池、V2H 又は家庭用燃料電池　40,000 円
④ ③に太陽光発電を同時設置の場合は　20,000 円を加算
※ 県に同様の補助金がある場合は、重複して交付を受けることはできない。

3 ［新規］リース方式による公共施設の一括 LED 化　【予算額　2,140 千円】

地域の活動拠点施設である地区市民センター及び公民館に加えて、嬉野生涯学習センターのすべての照明を LED 化し、地域の CO2 排出量の削減、施設の電気料金の削減を図るとともに、リース方式により市の財政負担の軽減を図る。

***地区市民センター管理運営事業費ほか（地域づくり連携課ほか）**
※地区市民センター(21)、公民館(14)、嬉野生涯学習センター［計 36 施設］
（環境課）

***庁舎等整備事業費ほか　193,073 千円（財務課ほか）**
※工事方式による LED 化（本庁舎、飯南体育センター、道路照明灯）
【予算額 193,073 千円】

4 ［新規］PPA 方式による公共施設への太陽光発電の導入　【予算額　0 千円】

公共施設への再生可能エネルギーの導入と災害・停電時の地域のレジリエンス強化を同時に実現するため、避難所及び防災拠点施設等に太陽光発電システム及び蓄電池を導入する。なお、導入費用の平準化を図るため、PPA 方式により整備する。

※避難所、防災拠点施設等の約 15 の公共施設に太陽光発電及び蓄電池を導入
※PPA（Power Purchase Agreement）とは、PPA 事業者が施設に太陽光発電設備を設置し、施設側はその発電電力を購入する契約のこと。施設側は設備を所有しないため、初期費用の負担や設備の維持管理をすることなく、再生可能エネルギー電力を使用することができる。
（環境課）

5　中小企業の脱炭素化の支援　【予算額　24,500 千円】

昨年度に引き続き、市内の中小企業における省エネ最適化診断、CO2 排出量の削減目標の設定、省エネ対策の実施、自家消費用発電装置の導入など脱炭素に係る経費を支援する。

***中小企業カーボンニュートラル推進事業補助金（企業誘致連携課）**
① 省エネ対策支援型　250,000 円
② 省エネ設備導入支援型　1,000,000 円
③ 再生可能エネルギー導入支援型　1,000,000 円

6 ［新規］水道施設を活用したマイクロ水力発電　≪県内初≫　【予算額　0 千円】

上水道施設を活用した水道管路用マイクロ水力発電システムを導入し、再生可能エネルギーの地産地消と自主財源の確保を図る。

※令和 5 年度中の発電を目指す
※年間約 160,000kWh の発電（約 40 万円の歳入）を見込む
（水源管理課）

7　森林整備による J -クレジットの創出　【予算額　6,410 千円】

令和 4 年度にプロジェクト登録された計画に基づき、植林・間伐等を実施し、クレジット認証を目指す。

*** J -クレジット創出事業費（林業振興課）**
※クレジット認証審査業務委託　1,000,000 円
※森林プロット調査業務委託　2,000,000 円ほか

8　公用車の EV 化　【予算額　1,500 千円】

昨年度に引き続き、リース期間満了後の公用車から順次 EV に切り替える。

***環境保全一般経費ほか（環境課ほか）**
※環境課、飯南地域振興局、飯高地域振興局（各 1 台）